いわき民報

發行所
いわき民報社
平市田町一番地（電話三八一番）
編輯兼發行人　印刷人　千輝克己
定價　一ヶ月壹円廿錢　一部四十錢

本紙講讀申込所

平市田町一番地　いわき民報社　電三八一
平市白銀町　平新聞共販第一配給所　電八八四
平市田町　平新聞共販第二配給所　電五三二

社説

勞組に望む

ボスの存在排撃

終戰後勞働組合の結成をみるもの頗る多く、三月末現在で縣下の勞組は百十九に達し、この組合員は男二萬五千五百二名、女八千二十名、計三萬三千五百二十二名に及んでゐる、而して常磐地區だけでも十指に余る數に上つてゐるが、これは眞に喜ぶべき事といはねばならない

戰時中軍及び官の强壓により、心ならずも牛馬の如く增産〳〵に鞭うたれ、勞働者の幸福などといふことは全く度外視されてゐたのが、今後は完全に打破され、資本家の横暴を抑壓すべき重大使命を附與されて、全き勞働者の福利を期し得るのであるから、勞働者にとつてはこの上ない力强い牙城たるべきものである、然しながらその後の組合狀況をみると、徒らに所謂〝勞働者の味方は吾なり〟と豪語する一部ボス的指導者の手先的に利用されつゝあるやに見られるものがあり、殊に先般の總選擧には遺憾なくこのボス的指導者に踊らされてゐた向があつたのは殘念至極といはざるを得ぬ、勞組は〝勞働者のための勞働者に依る勞働者の組織〟であらねばならぬ、故に勞組は飽迄も勞働者自体のものとせねばならない、そこに勞働の体驗もない濡手で粟式の不純な利益をねらふボス的存在やエセ指導者の介在は許されないのである、この点は往年の入山の爭議その他の爭議を顧みるならば何人も慄然たらざるを得まい、あの際利益を得たのは炭礦側でもないし又勞働者でもなくたゞ介在したボスに外ならなかつたのである

これらの事實をこゝに再び正視し何處までも組合を護らねばならない。

同時に來るべき十數年振りに復活するメーデーに當つても往時の如くエセ指導者の煽動的な言辭に弄弄されて、無謀な亂暴な行動があつてはならない、メーデーは勞働者の嚴肅なる祭典として、心から樂しみ苟くも大衆から指彈を受けるが如き行爲のないやうつとむべきである

大衆に愛さる勞組であつてこそ初めて眞の勞働者の味方たり得るのである、斯くてこそ今後の勞組の運命はいよ〳〵拓けゆくのである、再びいふ發足に當つての勞組は飽迄もボス的存在を排撃純眞なる勞働者自身のもとして潔く、地道に、正しくの大道を濶歩せよと

失業者收容所建設か

時局協議會で具体案を研究＝平勤勞署乘出す

失業對策の確立を期するため平勤勞署では失業對策時局協議會を設立、去る一日付で山崎與三郎氏を會長に八名の委員を依囑したが來る二十六、七日に顔合せを兼ねた第一回協議會を開き無料宿泊所と簡易食堂を兼ねた如き失業者應急收容所建設について研究、急速にその實現を期することに決定した、勤勞署關係としてかゝる施設にまで乘出すことは未だかつてないもので如何に失業對策に勤勞署が本腰を入れてゐるかゞ察知し得るものとして、その實現を期待注視されてゐる

關係業者の協力要望

就職迄の一時的收容が目的

右應急收容所は〝石城よいとこ〟とたゞ漫然と出稼ぎに來たが職は無し、金も食糧もないとあつて勤勞署へ泣き込む者が尠くない、全署として斡旋してみても宿泊所もないとあつては又二三日待てば職もあるとあるにあつては、折角の斡旋も何等效がないので、かゝる者を一時收容する設備をものとしたいといふのが眼目とある、尚建設には關係業者の援助と一般の篤志寄附を目指す豫定である

窓口閑散も

一時的か？

軈て失業者群の氾濫は間違なし

終戰後どつと失業者群が溢れ、市、郡下だけでもザッと三、四千名はあると見られてゐるにも拘らず、平勤勞署に出る者は殆んどなく、新興生活に入つた直後はチョッと窓口も一時賑つたが、その後はまた閑古鳥が鳴く閑散さ、全署ではこの現象は〝石城よいとこ〟とあつて、何をしても食へるためかと見られるが、新興となつても物は低下せぬ現狀にあるので、この生活も長くはつゞかず軈てはどつと失業者が出ることは受合とみて、目下愼重對策を進めてゐるが、別項の應急收容所と併せて、これに對する施設についても考慮を進めてゐる

進步黨役員

新代議士の顔觸れ

進步黨の十九日の代議士會で決定された新役員中本縣選出代議士は左の通り

▲總務委員　林　平馬
▲政務調査會副會長　村井八郎
▲代議士會副會長　太田秋之助
▲會計監督　星　一

舊平陽女を市で買收

第一校の低學年兒童收容のため

平市では第一國民校の新築成るまで、さきに買收した舊藤田女學校に、現在第三校で二部教授で收容中の三年生以下の低學年生を收容する豫定のところ、第一校の復活は當分見込みたゝず一方藤田校には女子商工技藝專修校の開設をみたので、全校への收容も望み得ぬに至つたゝめ改めて計畫を樹て直し、今度は富士興業の手にある舊平陽女學校を十八萬八千八十圓で買收の上こゝに現在通り女子商業校と共に第一校の三年生以下を收容することにし、去る十七日の復興委員會で舊平陽女學校舍の買收を正式に決定した

農會の民主化に期待

大森次長、內田課長引責退陣か

農業會の改組に依つて石城郡農業會支部長古川傳一氏は退陣し、本會理事に大浦村農會林小專務が選任された

今回の改組に依つて郡農業會には支部長を置かず、本會が直接運營に當る筈で、本會も又地方から選はれた理事に依つて運營されることに成つたから今後の農會民主化に大きい期待をかけられてゐる

尚今回の總選擧に際し前支部長古川傳一氏を全面的に支持し、積極的な運動に當つた次長大森圭介技師並に總務課長內田節太郎の兩氏は選擧中本會に招致されて手痛い注意を受けて居り、選擧終結と同時に責任を明かにし、辭職するものと見られてゐるが兩氏とも態度を鮮明にしない爲、郡支部職員會は不滿を持し排撃するの空氣濃厚で、縣本會でも强硬派があり結局遠からず退陣するものと見られてゐる

外地引揚者

聯盟結成

二十二日公會堂に

外地引揚者磐城聯盟設立準備會では十八日の委員會の結果に基いて二十二日午后一時から平市公會堂日本間で結成式を擧げた

小名濱後任町長には

志賀要平氏が有力

樋口速氏襟度を示し退陣か

小名濱町の町長問題は輸入說と地元選出派に分れ、地元派に於ても兩派に分離するなど町政の明朗化を期して行はれた町議補選も意義を失ふことになるため識者の變慮するところと成つてゐる

▼輸入說を持する意見は、この際多年に亘つてわだかまる派閥的な紛爭を一掃するため中間的に町民外から町長を選任し町會の圓滿を圖るべきである、但し高級助役制を設けて志賀要平氏を推薦次町長を見習せるといふ純理論から發してゐる

▼地元選任派は、町長輸入は自治体の恥である、町長は町から選ぶべきであると主張してゐる

兩者何れにも一理あり軍扇は上げ兼ねるが、輸入町長として話題に上つてゐるのは現臨時町長鏡又七氏で、これと對立的に上げられてゐるのは元收入役現町議樋口速氏である、萬一決選投票を行ふとすれば一族關係から清水屋一家が樋口氏を支持する情勢にあるため十五對十三位で樋口派が多數を占めることにならうが、斯くては町政今後の運營に抗爭の禍痕を殘すことになるため、町會圓滿を期して志賀要平氏を滿場一致で推薦すべしとする聲が昂り、清水屋の郎黨福尾伊太郎、小野務平、近藤芳男の三氏が二十日夜樋口氏と會見し懇談の結果

志賀君は當初町長たる意志の無いことを表明してゐたから自分で出ることに成つたものである、本人の心境が變つたかどうか確めた上、志賀君に意志があるなら紛爭を避けるため考慮したいと態度を鮮明にした、從つて志賀氏今後の出樣に依つては滿場一致で志賀氏に決定するの空氣濃厚と成つた

第一校の新築延期

資材入手難と請負者難から

平市では戰災を受けた第一國民學校は二十、二十一兩年度繼續の七十四萬六千六百圓の工費を以つて新築することゝし計畫中だつたが、資材の奔騰と入手難及びその他の原因から工事請負者もないため去る十七日の復興委員會で協議の結果、財界の見透しがつき諸物價が安定、請負適任者が見つかるまで一先づ工事を見送ることになつたかくて第一校の復活はこゝ當分見込ないことになつた

水產物類再び統制

今二十二日より實施する

水產物統制令に基く生鮮魚介類の再統制は今二十二日から實施される、陸揚地は漁獲高の等級に應じ甲乙二級に分け鮮魚介海獸肉、生藻類は從前通り平、植田、福島、郡山、若松須賀川、白河、原町の八地區海產物市場を荷受機關として各管下地域に配給せしめ以上を除く水產物は縣海產物市場が、水產物加工製造品は縣水產業會が荷受機關となつて縣下一圓に配給するに決せられた

▲陸揚地（甲）小名濱、江名、四倉、原釜（乙）勿來、久ノ濱植田、豊間、請戸、北浦、磯部、新地

生產增强指定工場

郡市關係全部決定さる

商工省では日本再建は生產增强からと今度各種產業の振興根源をなす、石炭、諸機械及び化學肥料關係に於て生產增强第一指定工場を設定、增產に拍車をかけさせることに決定、縣內では先づ十五工場を指定したが、中市郡關係は左の通りである

▲石炭關係　常磐炭礦、大日本炭礦、古河炭礦、東北石炭統制會所屬各炭礦

▲化學肥料關係　常磐製作所（ポンプ、送風機）吉健鐵工所（平市、各種炭礦機械）磐城セメント（四倉）磐電工業會社（勿來町カーバイト）田村鐵工所（江名町各種炭礦機械）

いわきす言

▼本紙の警告が不幸にして的中し、今次總選擧では石城郡の候補者總倒れとなつた、改めて再警告するまでもなく、郡市民は肝に銘じたことであらう、政局が安定するまで恐らく今後何回が解散されることと思ふが今次總選擧の如き失態を繰り返したくないものである▼連記制度の失敗と、不愉快なポスター戰が全國的に問題となつた、次期選擧までに改正を要望されてゐるが、特別議會の審議に間に合ふか疑問されてゐる、惡政は選擧法のみに限らず速やかに是正すべし▼海外引揚者磐城聯盟生る、悲慘な同胞に救援團体の出來たことを喜ぶ、郡市民の全幅的同胞愛を望む▼港に强竊盜しきり、これが敗戰國の姿であらうか、無能力化した警察は賴るに足らず、各々自衛の處置に力むべし

常磐地區のメーデー

十年振りの復活に張切る炭礦

働く者の祝典

働く者の喜びと資本家に對する反撃を目指す勞働者の尊い祭典、メーデーが十年振りで復活される、この一日を常磐地區の勞働者連は如何に飾るか——先づ共産黨常磐地區聯盟では二十五日に協議會を、又社會黨常磐支部でも二十五日に執行委員會を開催、具体案を樹立して、勞働者の先頭に立つて大いにこの意義ある日を祝ふことになつてゐる、一方常磐炭礦勞組では二十一日の全日本炭礦勞組大會の結果に基いて計劃を進めるとあり、早くも準備を急いでゐる向もあるので、久方振りに賑かなメーデーが迎へられやうとある

糸姫募集に大童

地區處理委員會も設定

國民を餓死線上から救ふ途は、見返り物資の王座を占める繊維工業品の大増産にありと蠶糸、紡績、紡織等々に働く所謂糸姫募集が喧しく唱へられてゐるにも拘らず志願者が渉々しくないので、縣に繊維勞務者處理委員會の設定をみる事になつたのに呼應、平勤勞署でも〃地區處理委員會〃を結成五月早々第一回委員會を開き具体的募集人員、各工場への割當、賃金給與等々を定め大募集に乘出すことに決定、本月中に委員の任命をなすことになつた、委員長には樋口署長が當り委員には有識者各工場關係者等々十名内外を委嘱する豫定とある

濱通地區勞組協議會結成

相双兩郡下も近く合流

勞働組合運動もその後逐日活潑性を加へ、縣勞働組合聯合會も二十三日發足の運びとなつたがこれに先立つて各炭礦を除く濱通り地區各勞組も、差迫つた地方勞働委員選出等の緊急諸問題に備へて急據去る十九日平市常陽銀行文店樓上に、郡下十五組合代表三十余名が集合協議の結果、濱通り勞組協議會を結成した相馬、双葉兩郡下の組合も近く參加するに決定してゐるとあるが、役員は左の通り

▲常任委員長平市田邊製作所組合（委員長長谷川昌氏）▲副常任委員長小名濱日素工場勞組（委員長高橋清一氏）平市富士興業磐城工場勞組（組合長武石不二夫氏）▲會計平郵便局勞組（委員長三浦芳勝氏）▲常任委員加呉興業從業組合、呉羽化學從組、保土ヶ谷化學勞組小名濱支部、平驛聯區勞組、平保線區勞組、平機關區勞組、平檢車區勞組、小名濱臨鐵勞組、磐城セメシト、磐城貨物自動車勞組、日立製作小名濱勞組

青年座の純益は

—海外引揚者磐城聯盟へ—

日本青年文藝俱樂部演劇部青年座の第一回公演會は、二十三四の兩夜聚樂館で開催するが、諸經費一切を差引いての純益は二十四日舞台上で今度誕生した海外引揚者磐城聯盟代表に手交、全聯盟の資金として寄附することに決定した

人口調査打合せ

平市役所統計課では來る二十六日午前零時を期して行はれる人口調査に對する事務打合せを十九日行つた今度の調査は失業對策、食糧對策等の資料調査なので一ヶ月間の就業狀況を細別に申告する樣になつて居り、同時に農家人口調査をも併行して申告するものとある

强制注射

コレラの豫防に

郡下の四漁港で

平署では縣からの指令に基き中國から浦賀に入港引揚船によりコレラが持ち歸られたのに鑑み防疫の徹底を期するため先づ小名濱、四倉、江名、豊間の四漁港の各關係業務者及び飲食業者に對してワクチンの强制豫防注射を實施することに決定した

四名生埋め

隅田川礦の慘事

好間村隅田川炭礦平和坑内で十九日朝八時半坑道修理の爆破作業中、激動で採掘跡の湧水がどつと流出逃げ遲れた採炭夫柴野悟（四二）山口義雄（二五）運搬夫田代もと（三二）深川きよ（二二）の四名は生埋めとなつたが排水までには十日間を要する見込み

切符自由販賣

四倉驛の成績良好

四倉驛では去る一日より八日迄試驗的に切符の自由販賣を實施した、發賣數は五割增にも拘はらず混雜は豫想外に尠く此の分なら燃料さへ續けば自由販賣制に復活し得る見込み十分としてゐる

社告

五月一日より日刊に躍進

本紙は創刊以來印刷設備の不完全から讀者諸子に尠からず御迷惑をおかけしてゐましたが、工場の準備成り、愈々五月一日から日刊紙に飛躍し御期待に添ふて新發足することになりました

漸定處置として今月中は二頁建の週間に更めますが、併せて御諒承の上一層の御支援賜らんことを切望致します

いわき民報社

野菜・魚の配給は

配給所側の辯を聽く

新圓切換へ僅か一ケ月にして第二次緊急措置として預金引出を百圓に引下げたが、さなきだに乏しい各家庭のお台所會計は、そして榮養係は如何か？問題は副食物にある、野菜と魚にある漁場の王座小名濱、江名、四倉等を控へ乍ら又周圍に平窪、神谷、草野、高久等の農村を持ち乍ら何故に出廻はらないのか以下配給所の辯である

（野菜）折角の廉賣制も三月四月は生産者自身も缺乏時期で肝腎の品物が出て來ず漸く三回程配給したが六日から十九日迄の集荷は九六三〇貫、内譯油菜七〇%葱一〇%ホウレン草一〇%人參、牛蒡、大根等一〇%で一戸平均二貫匁弱の配給、今後の豫想は益々期待薄とある

（鮮魚）平共販所の三月中の鮮魚入荷數は一万九百貫でこれを平市、神谷、飯野、高久、鹿島、澤渡、内郷の一部の八ケ所で分けると結局平市分は五千二百貫程度で各家庭配給は一戸當り一貫匁弱となるが何しろ生物の事とて日減り、配給不賞等の爲に市場でも小賣業者に全部配給品とさせる譯にも行かず一部の自由販賣を認めて居るが、入荷貫數に較べ配給數量の少なく、値段が高いと云ふ市民の要望に對しては農村と都市の配給區別もあるが極力善處すると共に今後漁業者の協力を得て、成るべく多く安い物を御台所に送る計劃とある

生活と文化

病床の記

釜谷義男

無理やりに眼をつぶつて安靜してゐると、何時の間にか、いたづら兒に色とりどりのクレオンで、春の風景を描かれてしまつた。不愉快千萬の事である

——お起してよ、お起してよ、わたしの病氣なほしてよ、早くしないと、春が來てしまふじやないの。演出家、山川幸世君の妹さんで、十六才で早世した『バラは生きてゐる』の作者、やちよさんの悲しい歌の饒舌。饒舌の妙。ひとり百圓也と限定された闘病生活に、容捨なく、盜汗の洪水。人殺しい。わが子の衰運を嘆きながら、はるばる戰災の東京より訪ねて來た老母。枕頭にリンゴの籠を飾つていよいよ慘めになるばかり。それでも少し氣を取り直して、障子を細めに三十男の感嘆、一寸とお待ち、低い春山の風景、今の世

暗夜のホウレン草、夜露に濡れて、とうにたつ。外地のダンナサンの歸りを待つ、歌好きで、洗たく好きの、隣室の若いマダム、しだいに不眠症、貸惜しみなの、うちの赤ン坊貸しとく？赤ン坊は、せつとう罪にならない。つひにかんしやく。がまぐちあけたり閉めたり。あと四五日、ねられる。カン桶、間ニ合ハヌカラ、ヒモノニシテ、野菜ノカワリニ皆サンヘ、ナニトゾ飢餓ヲ、トツパシテ下サイ。そつと紙片を枕の下へ。あまり遺書が積極的だと、變、ひとすじ、ひとすじの雨のなか、はゝおやの額の皺を、ぢつと見てゐると、はゝおやは晩年を、だまつて、縫ひちゞめる。再讀三讀この第二の故郷、夏井川の片ほゝり、候補地を見つけて、詩碑を建てる準備。天晴れ墓碑銘。

何か。青春とは体温計のかなに飼つてある蛇におきなさい。戀愛とは？戀愛とは、電柱に片足あげて、へんな顔してゐる犬の習性にてます。ばかばかしい。彼に電柱をあたへよ。御めん下さい。おいでなすつた。泉川武士先生、御在宅でせうか。お前、特高係じやないかい。さうですか、講談社からおいでなすつた、なるほど、あなたの鑑は特高型です、現代中堅詩人選集に作品を加へたいとおつしやる。待てよ。まだまだ二十代そこそこで、ブタの鼻さきに、すみれの歌を、發表してよいかどうか、わが師井上康文氏に——河井すいめい老大家が君の詩を『女性時代』で、げきひようしてゐた、兎も角がんばり給へ。戀愛詩を醫いて、雨にも負けず姉上なる、大塚君代の赤いしやつぽをかぶり、親爺なる報知新聞の政治部長をサンザ悩ましてゐた庇崎春夫と、やれ一枚十圓の稿料は高いの安いの。醉眠もうろう、やつぱり銀座はいいなあ。文番横の電柱に登つて。高

シモン切角の宇頂天、墜落したらいのちにかゝわりますよ。下界の奴、哀願の戰術ときた。われに電柱を與へよ。藝術とは何か？藝術とは醱しよべんである『お許し下さい』ゆうべ、便所の戸を確かに確かにあけて、いい氣持でやらかしましたら、押入れでありました。なかの洗濯もの、みんな濡れてます。藝術とは、文學とは、悲しい報告です。うたです、あしたから、サラリーマンになります。あたしのお尻にホクロあんのよ新宿二幸裏のバーの女の子と、夫婦約束。出鱈目を知らぬ顔して踏襲して行く氣か。ちようど支那事變です。親爺の寄聲は、うさぎの目玉よりも赤い。けごんの瀧は、水枯れてる、といふ報告。戀愛の勞苦は、殉死するる母上お許るし下さい、スワ、カツトウの危機、あなたの胸は切なかつたでせう。あすより早ね早起して、模範的市民生活に入ります、机の前にも坐りません、原稿用紙はおとし紙にします。しかしながら、しかしなが

むらさき色の夕暮のなかを泳ぎ廻わつて居ります。お母さんもう一度、もう一度、あの練兵場の眞ン中で、ナンマイダ、ナンマイダを大聲でどなつて參ります。——高橋是清さんの心臟から煙りが出た、はなせばわかる雪つもり、市街戰の雰圍氣。女の美しさは、腰ヒモ一つにある横光利一先生は重大發表する。負けずに、淺草觀音さまの鳩はゆうべ夢をみた、なんの夢？踊子たちの、足の裏のマメをたべた。エロぽ過ぎる？、大東亞戰爭のサイレンは、青春の敗北を告げます。刑期は？結婚難からでせう。いやいや、もつと非生活的です。つまらぬから、わたしは東寳入りいたします。小夜福子、萬代峯子、櫻町公子、蝶々迷中のおてんぐさんを、虫ぴんにさして、地方廻り。さよのサインして——ぼ、ぼく、字が下手です。初日は正直すぎて、多産型のお孃さんに、いやつと云ふ程にらまれる、藥屋の睡眠翔が賣れなくなつた。お母さん軍需工場で、おもちやの飛行機

廻りより、工場入りしたらどう世界に一つしかない日本が、負けました。へえ？負けたんです。天皇さま、ごたつしやかい民主主義になりました。民主主義は、戰爭の發生およびその根據に批判的理論を持たぬ、日本は世界の箱庭です。代議士は戰爭被害のない、收入の多い、地方農村出[illegible]かん迎いたします。ラヂオで當選者を發表してます選擧名簿の脱落があります。共サン黨は駄目です。野坂さんでは鹽と味噌、醬油しか配給して呉れません。其處へゆくと鳩山さんはお砂トウを配給して呉れさうです、お母さん、さういふ少女の背たけは伸びました、加速度に加速度に、にんしん率はたかまります。富者萬燈の祭禮を好む民主主義は、若い婦人代議士の紅脣からもれてきます。ラヂオできゝの通り自由黨が第一位です。『ノンキ節』の石田一松ちやんも當選しました。よくよくこの世の中に自信があつたと見えます。（お許るし下さい）これ以上世の嘲笑と、指彈

生涯を自分で豫言致し度いと存じます。醜くあせつて全精力つかひはたしたわたしに、御聲援下さつた、高邁なる花束へ宜敷お傳へ下さい——お前、ヘンな事ばかり口走して、きつと熱のせいだよ。（四月十五日）

富士勞組句會

富士興業磐城工場勞組文化部では去る十五日第一回句會を開催したが、當日の兼題詠草は左の通り次回の兼題は〃春愁〃〃行春〃及び〃山吹〃とある

櫻

家處々花點々と村のどか　冬里
大土間に裝飾の仕度花の散る　嘉乃子
そのかみの長者の屋敷八重櫻　眞砂常

春の川

鮮人の衣叩き居り春の川　守
馬洗ひ乘つて歸へるや春の川　嘉乃子
故郷の春の山河に復りけり　麗村
挿花の附捨てにけり春の川　冬里
寺へ行く道に添ふたり春の川　仝

若草

腹ばへば若草頰にやはらかき　梓
還り來しわが家の跡や草萠ゆる　守

書籍雜誌類一割增販賣

—日本出版物小賣業組合—

全國聯合會では最近用紙の暴騰、印刷製本料の値上、鐵道運賃、荷造費の高騰等に鑑み地方長官の許可を得て暫定措置として當分の間定價の一割增で販賣する